

日本製鉄グループの主要セメントは、鉄高セメントが経営の柱として、4月から新設した高セメントとして新たなスタイルを打ち出す。

北海の室蘭・福岡県の北九州・製造拠点を、主力の高セメントを主として脱炭素社会に貢献するラフ・経営を展開して、経営戦略の狙いや経営戦略にわたって、江崎建設長に、江崎建設社長は、高セメントの需給拡大の方を入る、と語り、建築分野の利用促進や普及を図る一環として方針を示した。

[illegible][illegible]

特集 日鉄高炉セメント

本社を置く南の拠点の北九州事業所

か符々に増えている。少すつたが案件でできている。日本の出荷拠点を、種専用のサイロをもっている。他の地も常備する体制をえ、確実なジャンつかみ取っていく。また、高炉スラグ粉末二次製品メーカーからの問い合わせが目立つて増えている。供給拠点の整備にまらず、具体的な方のご相談をおこし、試し練りをお願いしたりする。これを差し上げている。

普及活動の成果として、昨春に福岡県は県発注の建築工事のコンクリート基礎について高炉セメントB種の使用が標準化された。熊本県や大分県も足並み揃えて、高炉セメントB種の使用が標準化された。熊本県や大分県も足並み揃えて、高炉セメントB種の使用が標準化された。熊本県や大分県も足並み揃えて、高炉セメントB種の使用が標準化された。

——セメント協会は、混合セメント時代の到来を視野に入れ、混合材の活用に向けた取り組みを強化しています。

すでに炭石重合剤を用いた高炉セメントのJIS化に向けた作業がスタートしているほか、2002年に公表した「カーボン・トラップ」に関する長期ビジョンでセメントにトB種のフラグ割合が減ると、高炉セメントB種に添着する高炉スラグ分量を増量を検討項目に掲げている。JISで定める高炉セメントB種のフラグ割合が、常習でできる。

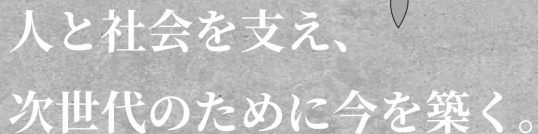
的なもので、
た燃料原単位が改善
し、CO₂排出削減に
つながり、さらに良
手作業が減るなど、良
好な結果が得られてい
る。北九州事業所へ
導入も検討する。電力
の時代に入り、世

物流効率化を推進

安定供給維持へ値上げ

一セメント系開閉
材やセケラブリック
（砂とセメントを混ぜ
た）材、グラウト材
（特殊品の販売会社
から提供）については、
略しては、
国内向けに製造して
高品質の製品を必要
の起を重視して
廃止せしめられたい
と述べられています

建築基礎に活路見出す
九州で標準使用広がる

[illegible]

※ スラグとは鉄をつくる際に発生する副産物です。

※スラグとは鉄をつくる際に発生する副産物です。

